

## 総合型地域スポーツクラブとの連携プロジェクト

団体名 ● 地域スポーツマネジメントゼミナール、スポーツ学科フィールド基礎演習  
代表者名 ● 西村貴之（人間科学部スポーツ学科・教授）

### はじめに(背景・目的・目標)

総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」)は地域のニーズや実情に即応し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブである。総合型クラブには「新しい公共」の担い手として、地域が抱える社会的課題を多様な組織、団体との連携・協働によって解決していくことが期待されている。一方でスポーツ庁の調査結果では「クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保」を課題としている総合型クラブが多く、若手人材の発掘や育成が喫緊の課題となっている。地域スポーツマネジメントゼミナールでは、「スポーツで人と地域を幸せにする」を理念に掲げ、地域の活性化や課題解決の担い手となる、「地域スポーツマネジメント人材」の育成をめざしている。

### 活動内容

以下では総合型クラブと連携して実施した4つのプロジェクトを紹介する。

#### (1) NPO 法人クラブぽっと(金沢市)との連携

##### ①「泥んこ運動会2023」への参画

日程：2023年4月24日(日)

場所：金沢市医王山二俣地区の田んぼ

参加：本学学生10名

内容：参加学生達は前日準備、競技のルール決めや物品配置のシミュレーション、イベント当日の受付、競技運営、子ども達への声かけやサポートなどを実践した。地域の資源を活用し、地域の課題解決を目指すスポーツイベントがどのような人々に運営が支えられ、その場が形成されているかについて理解を深めた。



泥んこ運動会の様子



スタッフミーティング

##### ②「プレイパーク」への参画

日程：2023年5月27日(土)、7月22日(土)

場所：金沢市旭町中央公園

参加：本学学生10名

内容：身近な公園を使って、子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境づくりをねらいとしたプレイパークにおいて、プレイリーダーとして学生達が参加した。子ども達と一緒に思いっきり体を動かして楽しみながら、子ども達への接し方や安全管理について学ぶ機会となった。



プレイパークの様子



事前準備(物品管理)

#### (2) NPO 法人福光スポーツクラブ(南砺市)との連携

「わくわく運動あそび教室」の共催

日程：2023年6/3、7/1、8/5、9/9、10/7、11/11、12/2  
全7回(全て土曜日)

場所：南砺市福光体育館、福光中学校グラウンド

参加：本学学生21名

内容：遊びを取り入れながら様々な運動に取り組み、体を動かすことの楽しさを味わい、運動好きな子どもを育てること、異年齢の小学生、大学生、地域の大人の3世代の交流で様々な人と関わる社会性を身につけることを目的として実施した。前年度から回数を増やし内容充実を図るほか、大学生と地元指導者が活動当日の内容を事前協議するなど運営面での世代間交流を新たに試みた。



教室の様子



野外での水遊び

#### (3) NPO 法人クラブパレット(かほく市)との連携

「ファンチャレンジプログラム」への参画

日程：2023年11/30(木)、2024年1/18(木)、  
2/8(木)、2/29(木)、3/13(水)

場所：かほく市河北台健民体育館

参加：本学学生21名

内容：この取組みは、かほく市立河北台中学校の生徒を対象に、主に学校部活動のない曜日を活動日として実施した。地域の様々な団体の協力を得ながら、中学生が多種多様なスポーツを知ること、体験することで、生涯にわたってスポーツに関わる素養を身につけることをねらいとした。全11回の活動のうち、5回を本ゼミナールが担当した。5回のうち、活動初回、2回目については大学生が企画したレクリエーションに中学生が参加した。第3回目から中学生が徐々に運営上の役割を担った。第4回目、第5回目については中学生が企画段階から関わり、大学生と一緒にイベントを行うことで、中学生がやりたいスポーツを自分達で実現するという「スポーツマネジメント」を学ぶ機会とした。



活動の様子



ミーティングの様子

#### (4) NPO法人かなざわ総合スポーツクラブ(金沢市)との連携

「ファンチャレンジプロジェクト in 高中  
～体幹&バランス～」への参画

日時：2024年2月9日(金)

場所：金沢市立高岡中学校体育館

参加：本学学生21名

内容：中学生が楽しみながら体幹やバランスのトレーニングができるようなプログラムを構成した。男子生徒約100名と女子生徒90名の2グループに分かれ、ダンスや音楽に合わせたエクササイズやペアワークによる体幹トレーニングの部門と、ボール運びリレーをしながら感覚を養うバランストレーニングの部門の2部門に分かれて実施した。参

加した中学生のアンケートの中で、「学校部活動以外にスポーツを楽しむことを目的にした活動があったら参加してみたいか？」の問いに対して70%の生徒が「ぜひ参加したい」、「参加したい」と回答し、「参加するとしたらどんな場が望ましいか？」の問いに対して、86.7%の生徒が「スポーツが得意な人もそうでない人も一緒に楽しめる場」と回答した。中学生世代にとって「スポーツを楽しむための場」へ高いニーズがあることが示唆された。



活動の様子



活動の様子

#### 成果、結果の考察

学生達は、イベント参加者の中心であることも達との距離感が良く、積極的にコミュニケーションをとり「誰もが楽しむことができる場づくり」に貢献することができていた。

また、今年度は中学生世代を対象とした活動を展開することができた。学校部活動の地域移行に注目が集まる中、特定の競技種目にこだわらない「スポーツを楽しむ場」というスタイルを提示できたことは1つの成果であったと捉えている。

#### 今後の課題、展望

こうした連携活動が契機となり、実際に総合型クラブを卒業後の進路とする学生も出てきている。

総合型クラブ、大学の双方が求める点について対話をつづけ、より良いプロジェクトにむけた設計改善と継続実施に取り組んでいきたい。また、大学卒業後もそれぞれのスタイルで地域のスポーツに関わることのできる人材育成を継続していきたい。